

# Monday Senken

愛知県豊川市から毎日2時間かけて名古屋まで通う。学生時代も4年生の1年間は美家の豊川から豊橋の大学に通いながら、名古屋市の専門学校にも通った。「好きなことは苦にならない」といふが、自分で与えられた目の前の仕事に全力を尽くす。

「来店していただけるだけでありがたいです」と、どんなお客様にも喜んでもらえることを一番に考える。お客様を喜ばせるためには自分も喜ぶこと。主婦として家事もこなしながら往復で4時間弱の通勤時間も苦にせずがんばれるのは、お客様の喜びやスタッフの喜びを自分の喜びにできるから



フリーズショップ  
名古屋パルコ店店長  
**横山 絵美さん**

よこやま・えみ 06年4月サンエーインターナショナル入社、名古屋市内の「シルスチユアート」や「フリーズショップ」などに配属後、名古屋三越店の「シャロロトロンソ」店長を経て09年8月からフリーズショップ名古屋パルコ店店長。26歳。

「すぐ前回きな印象。すくすくマイナス指回だったのが人との出会いでプラス指回変わりました。」とにかかチャレンジする。「人よりがんばれば勝てる」「努力したる限りはかなう」と思えるようになったのは学生時代の友人のおかげです。元の性格のままだった「こじ世愛がらがり」と思っていた会社を志望するのとはななかつた。

「楽しんでもらうため楽しく働く」  
もう、洋服は大好き、人と接するの大好き、冬の人と出会うチャンスみたいな感じが、あの時思い切った。当に良かったと思っていま

## 販売の星 star

にできるのは、皆さんのフリーのお言葉を採ることで、「いいですね、いいですね」と目を合わせて言ったあとに、誰よりも早く最初のお声掛けを心がけました。売り上げは目に見えな結果です。「これ以上」「もうかか」と思えばもういいかなは、どう考える

かです。プラスにもマイナスにもなるんです。今年10月の全社員表彰式では、グループ全ショップを対象にした年度の優秀店舗賞で5位に入りました。10位以内の優秀店舗になる社員表彰式では、表彰される店長を舞台の下から眺めてみるだけでした。「私もあの舞台に上りたい。来年は絶対表彰されるんだ」と決意した店長も、表彰された瞬間は「絶対とれるから」と励まし続けてきました。私の場合は有言実行。「言いつけただけで取れなかったらどうしよう」とは考えません。でも表彰式で、10位から9位、8位、7位と発表が進んで自分の名前が呼ばれて「もうダメ」と弱気になってしまったら、がんばってくれたスタッフ

に申し訳ない気持ちで思わず泣いてしまいました。それから順位は選ばれ、体が震えるほどうれしくて、がんばった味を味わえたのは、こんな喜びを味わえたのは、がんばってくれたスタッフのおかげ。感謝の思いでいっぱいです。どんな店、どんな接客を目標としていますか。働きやすい店というよりも、楽しんで働ける店を目指しています。お客様に楽しんでもらうために、スタッフが楽しんで接客することで、もちろん販売の仕事は楽しいこともたくさんあります。お客様に失礼があったり、ミスをした時はしかられます。でもこの職を選んだくれたのだから、仕事を楽しくて欲しい。心から楽しんで笑顔でいてほしいと思っています。そして売りの上げは、目に見えない満足感を与えてくれるもの。ですからスタッフには売りの上げをやらせてあげたい。みんなが楽しくがんばれるように気を配っています。

◆次回は11月22日に掲載します